

かわさきの 上下水道

NO.48
令和4年5月発行

川崎市上下水道局
サービス推進部サービス推進課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
番044-200-3097 Ⅹ044-200-3996

貯水状況 (R4.4.25現在)

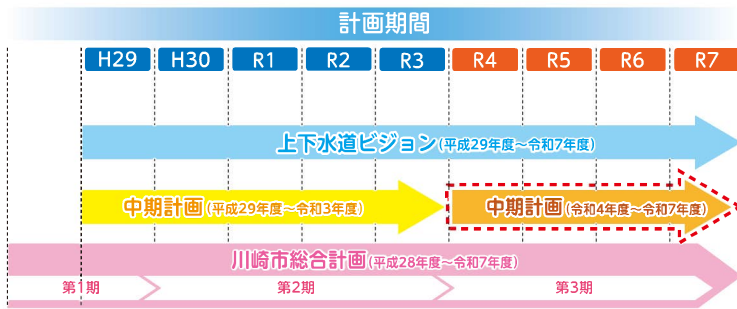
| | |
|---------|-----|
| 相模湖 | 86% |
| 津久井湖 | 96% |
| 丹沢湖 | 93% |
| 宮ヶ瀬湖 | 76% |
| 4湖合計貯水率 | 83% |



川崎市上下水道事業中期計画(2022~2025)を策定しました

「川崎市上下水道事業中期計画」は、本市の上下水道事業が進むべき道を明らかにした「川崎市上下水道ビジョン」の実現に向けた実施計画であり、財源などに裏付けられた具体的な取組内容を取りまとめたものです。この度、「川崎市上下水道ビジョン」の後半4年間を対象とする新たな中期計画を策定しました。

近年、自然災害の激甚化・頻発化や脱炭素社会の実現に向けた取組の加速化、社会全体のデジタル化など、上下水道事業を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした環境の変化に的確に対応していくため、事業の置かれた現状と課題を改めて整理するとともに、課題の解決に向けて、5つの「見直しの視点」を挙げ取組の見直しを行いました。



| 上下水道ビジョン | |
|----------|--|
| 基本理念 | 今後30年から50年程度先の将来を見据えた上下水道事業の根幹的な考え方 |
| 目的・使命 | 今後30年から50年程度先の将来を見据えた4つの視点による上下水道一体の目指すべき将来像 |
| 基本目標 | 目指すべき将来像を実現するための今後30年から50年程度先の将来を見据えた基本目標 |
| 10年間の方向性 | 基本目標を達成するための概ね10年間の方向性 |
| 中期計画 | |
| 施策 | 目標達成のための方向性を踏まえた4~5年間の施策 |
| 取組 | 施策を実現するための具体的な取組 |

見直しの視点 ① 激甚化・頻発化する自然災害への備え



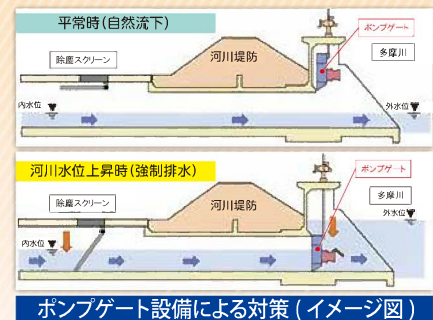
大雨・台風や大規模地震などに備え、浸水対策や地震対策をハード・ソフト両面から推進します。



主な取組 重点化地区・局地的な浸水箇所における浸水対策

中期計画期間(令和4~7年度)の取組内容

- 重点化地区に位置付けた6地区(三沢川地区、土橋地区、京町・渡田地区、川崎駅東口周辺地区、大島地区、観音川地区)における対策を推進します。
- 局地的な浸水箇所(山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根排水樋管周辺地域など)における対策を推進します。
- 市内全域の排水樋管ゲートにおける電動化及び観測機器の設置等を進めます。



ポンプゲート設備による対策(イメージ図)

※排水樋管とは…下水道から河川に雨水を排水する箇所に設けられる施設です。排水樋管のゲート操作により洪水、高潮及び津波による逆流を防止します。